

音楽部から未来へ

岐阜市立精華中学校 3年
森島 麻友(もりしま まゆ)

私が小学5年生の時コロナ禍となり、私達は今まで経験したことない様な不安の中、各行事も中止、縮小。思い描いていたものとは違う小学校時代の2年間を過ごし悔しい思いをしてきました。その中、私は中学に入学し、音楽部に出会いました。いくつかの部を見学しましたが、音楽部を訪れた時、私は衝撃を受けました。まず音楽室に入った時、私の目の前に飛び込んできたのは「Nコン金賞」の文字。当時の私は理解できなかった、その掲げている目標の偉大さを私はいずれ知る事となりました。そして何と言っても先輩方の合唱力です。その体全体を震わせる程の、美しいハーモニーと声量を目の前で浴び、感じたことのないような高揚感を覚えました。私もこの歌声と一緒に作り上げたい!先輩の様になりたい!そう思い、入部を決断しました。ところが、実際入部してみると驚きました。まず、例年15人ほどは、新入生が入部する中、なんと私達の学年は3人しか入部してこなかったのです。コロナの影響で歌声を発する合唱に対してマイナスのイメージがあったのでしょうか?私は不安でした。

そして、実際に部活動が始まると、さらに驚きました。歌を歌う部活かと思いきや、その中身は筋トレや様々なトレーニング、運動部より沢山ランニングをしているのでは?と、思う程の運動量で、活動量も多く、朝練はもちろん昼休みにも練習がありました。想像していた部活動とは違いました。それでも、高みを目指してゆく私達にとって時間は足りませんでした。保護者の方々にも見守りをさせていただき少しでも多くの時間を確保することができました。

入部して4ヶ月でNHK全国学校音楽コンクール略して「Nコン」が開催されました。前年のNコンはコロナの影響で開催されず、課題曲が、そのまま1年持ち越されているという状況でした。先輩方はすでに音が取れている状態で、同じパートの同級生も居ない中、早く音を取らないといけない、というプレッシャーの中、先輩達について行くのが必死でした。そして8月、Nコンの舞台に立つ事になりました。先輩達も初の舞台で、結果は予選通過ならず。とても悔しい結果でした。

3年生の先輩達は引退し、2年生の先輩方が中心になりました。私達は悔しさをバネにして、2年生の先輩の事を信用してさらに練習を重ねていきました。コロナ対策が緩和されて、沢山の活動時間を確保出来るようになりました。3月になり本格的にNコンに向けての練習が始まりました。他校の生徒の皆さんと合同練習をする機会があり、自分達の実力を知り、刺激を受けました。昨年のような悔しい思いはしたくない!伴奏者さん、外部の講師の先生、顧問の先生の指導の下、コロナ感染予防のため活動が止まったこともありました。しかし去年とは違う私達を見てもらいたい、そんな気持ちで挑みました。その後、ここ数年岐阜県トップの強豪校の発表、完成度は破壊力があり更に身が引き締まる思いでした。結果は予選通過。本戦は上位8校が出場出来ます。その中に含まれて、凄く凄く、凄く嬉しかったです。これまでやってきたことが無駄では無かった。そう思うと自信が持てました。金賞であれば東海北陸ブロック大会に出場が出来ます。課題曲は細部にまで耳を傾け自分達の技術と比べて聴いていました。これまでの努力があったので、私達は自信を持って舞台に立つことができました。全部の学校が歌い終わった後にその場で結果発表がありました。結果は、銀賞でした。目標の金賞にはとどきませんでした。それでも私は嬉しかったです。悔しさもあったけれどそれよりも、嬉しさが自分の中で勝ちました。

そして、先輩が引退され、私達が後輩を引っ張っていく存在になりました。私は副部長として部を支え、牽引する存在になったのです。不安が大きかったです。でも、私達は自分達で考え、もっとここをこうしたらよくなる!と、それぞれ自分から意見を発してよりよくなるために沢山工夫をしています。私達の合唱。私達だけが作れる合唱を目指して頑張っていきます。そして今は、毎日毎日部活だらけで、時々ほんとに疲れたなあと思うこともあるけれど、自分達の合唱を聴いている周りの人も、歌っている私達も笑顔になれるような合唱を目指してこれからも頑張ります。そして今年の夏、最後のNコン。最高の仲間と、岐阜県一番を狙います。

そして、自分達もしていただいた様に、後輩達に引き継ぎます。

今、受験生でこんなにも部活があっても心も体も辛くなる時がよくあります。ですが、今を乗り越え、この厳しい日々を乗り越えれば、この経験と自信がきっとこれから、進学しても就職しても、いずれ親になる日が来ても、何があっても頑張れると思います。だから、今を、1日1日大事にして、これからも今を一生懸命頑張っていこうと思います。